

令和4年3月9日(水) 岐阜県発表資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
岐阜県美術館	学芸員 教育普及係	鳥羽 都子 橋本 浩典	直通 058-271-1314 FAX 058-271-1315

とうもと  
「塔本シスコ展 シスコ・パラダイス

かかずにはいられない！ 人生絵日記」展を開催します！

県美術館ではこのたび、「塔本シスコ展 シスコ・パラダイス かかずにはいられない！ 人生絵日記」展を開催します。

塔本シスコは、50歳代から本格的に絵を描き始め、91歳で人生をとじるまでの約40年間で、膨大な数の絵を描き続けました。少女のように夢と喜びを制作の源泉にし、表現することの自由を私たちに教えてくれる塔本シスコの世界を、ぜひお楽しみください。

- 1 会期 令和4年4月23日(土)～6月26日(日)  
10:00～18:00  
※休館日：毎週月曜日  
※夜間開館：会期中の第3金曜日は20:00まで開館  
※展示室の入場は閉館の30分前まで

- 2 場所 岐阜県美術館(岐阜市宇佐4-1-22)

- 3 観覧料 一般：800円(700円)  
大学生：600円(500円)  
高校生以下無料、( )内は20名以上の団体料金  
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、  
難病に関する医療費受給者証の交付を受けている方  
およびその付き添いの方(1名まで)は無料

- 4 主催ほか 主催：岐阜県美術館、中日新聞社  
後援：NHK岐阜放送局



塔本シスコ《ひまわりの中で インコ》1987年



塔本シスコ《ネコ》1996年

■ 展覧会概要

塔本シスコさんは、1913(大正2)年、熊本県郡築村(現・八代市)に生まれました。養父の傳八は、自身のサンフランシスコ行きの夢を託し、彼女をシスコと命名しました。シスコさんが9歳の頃、家業がかたむき、小学校を中退します。その後、奉公を重ね、20歳で結婚します。一男一女を得ましたが、46歳の年、夫が急逝します。心身ともに不調の日々から立ち直るなかで、子どもの頃から憧れていた絵を描くことに夢中になっていきます。

53歳のある日、彼女は大きなキャンバスに油絵を描き始めました。その絵画世界は、何ものにもとられない、彼女の胸中に宿る喜びや夢で満たされています。作品の主題は身近な草花や動物たち、そして時間も場所も自由自在にのり越えて、子どもの頃の思い出にまで広がります。生涯にわたって、少女のような純粹さを保ち、自身の喜びと夢を制作の源泉にしていたシスコさんは、「私は死ぬまで絵を描きましようたい」と絵筆を握り続け、2005年に91歳の人生をとじました。

本展では、これまで広く紹介される機会が少なかったシスコさんの作品を200点以上集め、ほぼぼしるように展示室に満ち溢れるシスコ・パラダイスをお楽しみいただきます。

## ご来館のみなさまへお願い

岐阜県美術館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、安全に配慮した取り組みを行なっています。

- ・発熱、咳などの風邪症状がある方、体調がすぐれない方は来館をお控えください。
- ・入館にあたり、マスクの持参・着用、こまめな手洗い・消毒、来館者同士の距離の確保にご協力ください。

### ■ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、予定を変更する場合があります。

事前に岐阜県美術館 Web サイトでご確認ください。

※問い合わせは、岐阜県美術館（058-271-1313）をお願いします。

※その他の催し物については、岐阜県美術館 Web サイトをご確認ください。

(<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>)

岐阜県美術館

検索

